



お知らせ

記者発表日

令和2年12月18日

■同時発表先：岡山県政記者クラブ、倉敷記者クラブ、業界紙（山陽建設通信社、建通新聞社、日刊建設新聞社、建設日報、中建日報社）

劇団OiBokkeShi 94歳おかじいが

要配慮者マイ・タイムラインの作成過程を熱演します！

地域連携型要配慮者マイ・タイムラインの作成を促進するため、劇団OiBokkeShi（オイボッケシ）が作成過程を題材にミニドラマの撮影を行います。

94歳の劇団俳優「おかじい」こと岡田忠雄さんが要配慮者役となり、大雨が降った場合のおかじいの避難、家族や近所の方が一緒に考えていく様子をドラマ仕立てにして撮影します。

なお、撮影した映像は後日国土交通省高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所のホームページで公表するとともに、要配慮者マイ・タイムラインの作成に役立たせるため、DVDで地域に無料で配布する予定です。

取材を希望される方は、12月25日（金）15時までに下記問い合わせ先までご連絡ください。

撮影日時：令和2年12月28日（月） 11時～

撮影場所：倉敷芸文館ホール

出演：岡田忠雄、呉英長、古川恭子、申瑞季、井上洋子、周藤真子、額田信一

脚本：菅原直樹

※取材にあたっては、マスク着用をお願いします。

また、会場にて検温を実施し、37.5度以上の方は入場をお断りします。

【問い合わせ先】

中国地方整備局 高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所

副所長 たかはし たいじ
高橋 泰治

総務課長 ほそだ ひろし
細田 博

総務係長 はまだ しんいちろう
濱田 慎一郎

☎ 代表 086(697)1020

OiBokkeShiとは

俳優で介護福祉士の菅原直樹を中心に、2014年に岡山県和気町にて設立。看板俳優は、認知症の妻を在宅で介護する岡田忠雄(94歳)。「老人介護の現場に演劇の知恵を、演劇の現場に老人介護の深みを」という理念のもと、高齢者や介護者と共に作る演劇公演や、認知症ケアに演劇的手法を取り入れたワークショップを実施。超高齢社会の課題を「演劇」というユニークな切り口でアプローチするその活動は、演劇、介護のジャンルを越え、近年多方面から注目を集める。

主宰者:菅原直樹



1983年栃木県宇都宮生まれ。劇作家、演出家、俳優、介護福祉士。「老いと演劇」OiBokkeShi主宰。平田オリザが主宰する青年団に俳優として所属。小劇場を中心に、前田司郎、松井周、多田淳之介、柴幸男、神里雄大の作品などに出演する。平成30年(第69回)度芸術選奨文部科学大臣賞新人賞(芸術振興部門)を受賞。平成30年度(第20回)岡山芸術文化賞準グランプリ受賞。奈義町文化功労賞受賞。2019年度(第1回)福武教育文化賞受賞。

要配慮者マイ・タイムラインとは

避難行動に支援が必要な方を対象としたマイ・タイムライン

倉敷市真備町では西日本豪雨により、避難に支援が必要な方が多数犠牲になったことから、隣近所をはじめとした地域の方々や、福祉事業所職員等が、避難行動に支援が必要な人の避難を中心に地域の避難をどうするか考える取り組みが広がっている。

<http://www.cgr.mlit.go.jp/takaoda/mytimeline/youhairyosya.html>



日頃から気にかけてくださる近所みなさんに安心と感謝!

地域の方がいざというときに助けてくれることは心強い!

今度はためらわずに避難したい!

日常的に声を掛け、いざというときは、一緒に避難をしたい!

地域の宝のような方々に、自分が恩返してできるチャンス!

マイ・タイムラインは温かいまちづくりに必要不可欠!

皆で自分事として捉えて。まずはやってみることが重要!

皆で集まり、顔を合わせながら話をすることがとても大切!

要配慮者マイ・タイムライン作成者の声